

	早来中学校の単独再建	早来小学校との施設一体型校舎による再建	早来小学校との施設一体型校舎による再建
配置計画の例			
事業内容	現早来小学校の隣接地に早来中学校を移転改築する	現早来小学校の校舎に増築して施設一体型の小中学校を整備する	現早来小学校の隣接地に施設一体型の小中学校を整備する
小中一貫教育と施設計画	小学校と中学校の施設がそれぞれ別のため、日常的かつ柔軟な小中一貫教育活動は行いにくい。 校庭整備のために、大規模な造成工事が必要となる。また現在の自然環境が失われる。	既存校舎の配置や形状により、小中一貫教育に適した校舎の計画立案に制約を受ける。 校庭整備のために、大規模な造成工事が必要となる。	校舎全体を新たに整備できるため、小中一貫教育に適した計画が行える。
敷地面積	購入敷地27,459㎡	小学校校地(20,046㎡)+購入敷地(27,459㎡)=47,505㎡	小学校校地(20,046㎡)+購入敷地(27,459㎡)=47,505㎡
建物床面積	中学校整備面積 新校舎 約3,100㎡ 体育館 約1,150㎡	増築校舎 約3,100㎡ 小学校既存校舎 2,734㎡ 合計 5,834㎡ 新体育館 約1,150㎡ 既存体育館 887㎡ 合計 2,034㎡	新校舎 約5,800㎡ 新体育館 約1,900㎡
工事費試算	<中学校>新築工事 建設費19.5億円+土地整備他4.9億円 =24.4億円 <早来小学校(築43年)の施設を同時に更新する場合> 建て替え事業 14.7億円(5月8日安平町議会全員協議会資料3より) ※小中合計 24.4億円+14.7億円=39.1億円 長寿命化改修 14.7億×60%≒8.9億 ※小中合計 24.4億円+8.9億円=33.3億円 これに、中学校校庭整備に係る土地造成費が、上記の土地整備費とは別に掛かることが予想される。	<小中一体型校舎> 増築工事(中学校新築工事) 建設費:19.5億円+土地整備他:4.9億円=24.4億円 長寿命化改修工事(小学校既存施設) 14.7億円×60%≒8.9億円 ※合計 33.3億円 これに、中学校校庭整備に係る土地造成費が、上記の土地整備費とは別に掛かることが予想される。	<小中一体型校舎> 新築工事 建設費:30.0億円(解体費込み)+土地整備他:4.9億円 合計 34.9億円
建設工事期間の試算	<中学校> 新築工事 約1.5年 <小学校> 建て替えの場合 約1.5年 長寿命化改修の場合 約1年 ※いずれも仮設校舎必要	増築工事 約1.5年 長寿命化改修工事 約1年 計2.5年	新築工事 約1.5年

※1 建物形状などは計画・設計に応じて変わる。また敷地測量を行っていないため、高低差など現況と多少異なる。

※2 長寿命化改修とは、施設を現在の教育的要求を踏まえて機能向上させる改修手法である。